

5 本時の学習（14時間中6時間）

- (1) 狙い 行動や情景の変化から、ごんの気持ちを想像しながら、つぐないを続ける理由について読むことができる。
- (2) 評価規準 場面の移り変わりに注意しながら、ごんの気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読んでいる。 【読むことウ】
- (3) 準備 挿絵 短冊 全文シート
- (4) 展開

	学習過程(配時)	学習活動	評価 (◎) 支援 (○) 留意点 (・)
つかむ	1 本時の課題をつかむ (5分)	○ごんは兵十にどんなつぐないをしましたか。 ・ いわしを投げ入れた。 ・ 次の日、山でくりをどっさりひろって ・ 次の日も、その次の日もくりをひろって ・ その次の日には、くりばかりでなく、松たけも二、三本、持って行った。 ・ その明るく日もくりを持って	・ ごんの兵十へのつぐないを短冊に書いた物を時系列に並べて黒板に貼る。
考える	2 本文から、つぐないを繰り返すごんの気持ちがあらわれている文を選んで理由を書く (10分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           &lt;なぜごんはこんなにもつぐないをくりかえすのだろうか。&gt; </div> ○つぐないをくりかえすごんの気持ちが表れている文を見つけましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>大切</b> 心の言葉・行動         </div>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">           &lt;教えること&gt; 登場人物の気持ちは行動や言葉に表れるということ。         </div> ・ 根拠となる叙述には線を引き、つぐないをくりかえす理由も合わせてノートに書かせる。 ◎場面の移り変わりに注意しながら、ごんの気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読んでいる。 ○ごんの心の言葉はかぎ「」の部分を見つければ良いことを知らせる。 <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px;">           &lt;考えさせること&gt; なぜそのような行動や言葉に至ったのかを前後のごんの言動と比べることで理由を考えさせる。         </div>
深める	3 ごんがつぐないを続ける理由について話し合う (20分)	○どうしてつぐないをくりかえしていたのか話し合ひましょう。 ・ ●●さんの意見に付け足して、ごんは、自分のいたずらのせいで兵十のおっかあが死んだことを反省しているし、いたずらしたことを後悔していると思う。 ・ 「兵十のかげぼうしをふみふみ行きました」というところから、兵十への気持ちが強く	・ 叙述を指し示しながらペアで想像しながら読む。 ・ 自分や友達の考えを発表する。 ・ 「どこからそう考えたの?」「なぜそう考えたの?」と尋ねることで叙述のなかの特にどの言葉に着目しているのかを明らかにさせ、「前後の場

ま と め る	4 まとめる (5分)	<p>表れているし、兵十に自分のことを気付いてほしいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵十にくりを届けているのは自分だとわかってほしいと思っているから引き合わなくてもつぐないを続けている。</li> </ul>	<p>面とどう違うの？」と問うことで、違いや変化に気づかせていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「引き合わないなあ。」の言葉に着目し、相反する心情でありながらも翌日も償いをするのはなぜかと問い、ごんの気持ちを想像させる。</li> <li>・リーフレットの『つぶやき』に本時の学びを反映させて書くことを確認する。</li> </ul>
	5 ふりかえる (5分)	<p>○学習したことをまとめよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>ごんは、自分と同じひとりぼっちの兵十に対して自分と同じだなという思いや、わかってほしいという思いを持ったから、つぐないを繰り返した。</p> </div> <p>○今日の学習を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心人物の行動や言葉から気持ちを想像して読めば、人物の思いがわかるとわかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉や行動から登場人物の気持ちが読み取れるということを確認する。</li> </ul>

#### (5) めざす児童の姿

ごんの言葉や行動をくわしく読んだり、ごんの気持ちを想像して読んだりすると、ごんがいたずらを反省しているからつぐないを続けるのだということや、兵十のことをひとりぼっちでかわいそうだなと思ってつぐないを続けているのだということがわかった。

ごんがつぐないをくりかえすのは、兵十に悪いことをしたと反省しているから続けているのだと思っていたけれど、グループやみんなで話し合ってみると「気付いてほしい」という気持ちも持っていることがわかった。

#### (6) 板書計画

ごんは、自分と同じひとりぼっちの兵十に対して自分と同じだなという思いや、わかってほしいという思いを持ったから、つぐないを繰り返した。

心の言葉・行動	気持ち	理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんないたずらしなきやよかつた。</li> <li>・もうひとりぼっち</li> <li>・かわいそうに兵十は</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反省</li> <li>・後悔</li> <li>・おれと同じ</li> <li>・かわいそう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のせいで母が死んだから</li> <li>・自分もひとり</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かげぼうしをふみふみのになぜ？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気付いて</li> <li>・悔しい</li> <li>・腹が立つ</li> <li>・悲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くりを届けているのはおれなのに</li> <li>・兵十に近づきたいから</li> </ul>

大切 心の言葉・行動

引き合わない

・その明くる日

・うなぎのつぐない いいこと

・いわし

・次の日

・次の日もその次の日も

・その次の日

新美南吉作品の魅力を伝え合おう

(なぜごんはこんなにもつぐないをくりかえすのだろうか)

